

エゾヌカボ

Agrostis scabra Willd.

イネ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内では従来1カ所だけ産地が知られていたが、今回の調査で、新たに1カ所の産地(1個体)が確認された。(現況:RO)

形態

高さ30~60cmほどの繊細な多年草。植物体のわりに大型の花序をつける。花序の枝は小刺針があって著しくざらつき、先端部だけに小穂をつける。小花は小穂の長さの2/3ほど。葉舌は高さ3~4mmあり目立つ。

国内分布

北海道、本州(中部以北)。

県内分布

南加賀区(白山市岩間、蛇谷上流)。

生態など

多年草。花期は5~7月。

生育環境

ブナ帯の砂礫地や明るい草地。

危険要因

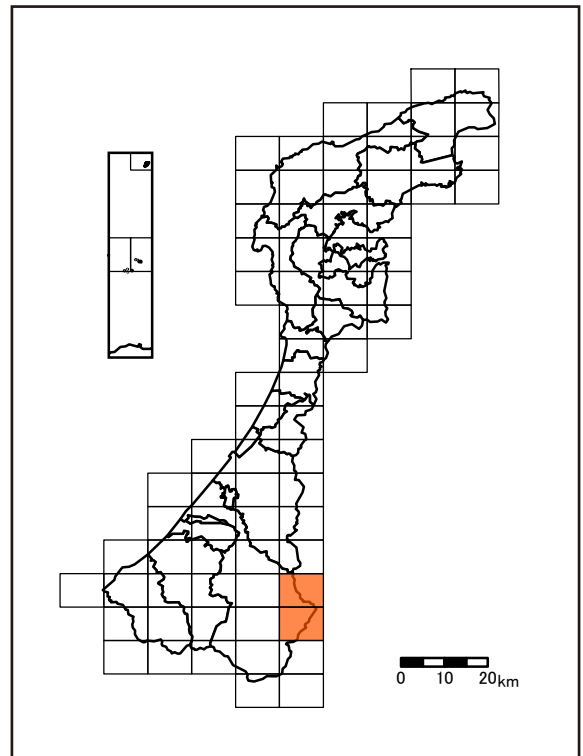
自然遷移、産地局限。

特記事項

生育地はいずれも白山国立公園特別保護地区内にある。なお、県内の生育地は砂防工事用道路および白山スーパー林道沿いにあり、本来の自生ではない可能性もある。



白井伸和・2007年10月5日・岩間温泉元湯



県内の分布